

『守口・人の道かるた』制作しました!

守口地区保護司会 設立70周年 記念事業「守口・人の道かるた」の制作

新入学児童全員にプレゼント!

かるた遊びを楽しみながら 心豊かな人になりましょう!

「50音で学ぶ人の道」について

箕面・学問の道『時習堂』
館長 北山 顕一



西郷隆盛に代表される薩摩藩士は幼少時代「郷中教育」と呼ばれる青少年教育制度を受けて育ちました。その中の教材に「いろは歌」が使われました。5・7・5・7・7の短歌調にならべられ、誰もが口ずさみやすく、日々繰り返して繰り返し声を出して唱えることで、自然に『人としてしなければならないこと、してはいけないこと』の道徳的規範を身に付けることが出来ました。今我が国では、青少年の道徳教育の再構築が大きな問題になっていますが、まず幼少期にこのようなリズムカルな語調を口ずさみながら、自然に人としての規範を学ばせることが、何よりも効果的で実践しやすい方策だと考え、その目的に活用出来るカードを考案しました。

●北山 顕一氏の「50音で学ぶ人の道」からの字札



●児童が描いた絵札



守口市シンボルキャラクター
もり吉

入学式での
「かるた」
贈呈!



「守口・人の道かるた」制作・贈呈!

守口地区保護司会
会長 高橋 義信



私たちの保護司会は設立70周年を迎え、これを記念して『守口・人の道かるた』を制作しました。字札はカードの言葉を使い、絵札は応募してくれた梶小学校的の1・2年生と梶中学校、庭窪中学校の美術部の生徒が描いた絵を使いました。言葉を絵に表現するのは大変難しいことだと思いますが、応募作品すべてが素晴らしいものでした。チャレンジしていただいた児童・生徒の皆さん、ご指導にあたられた先生方ありがとうございました。

令和4年4月5日の
入学式で贈呈しました。
(今年の新入学児童は1040人です。)

●北山 顕一氏 プロフィール

昭和21年奈良県生まれ
昭和44年関西学院大学卒業
同年松下電器株式会社(現パナソニック株式会社)入社
平成18年定年退職
箕面・学問の道『時習堂』館長
パナソニックマーケティングスクール特別講師

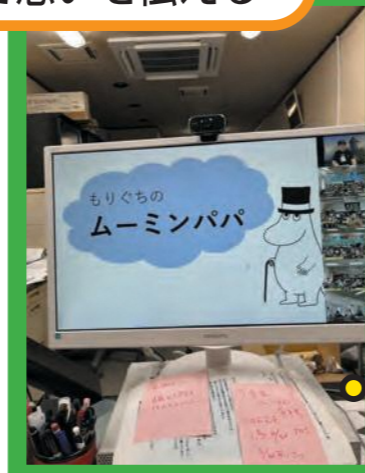
カードの一部掲載

50音で学ぶ人の道

あ 挨拶は大きな声で心から
い 命ほど大切なものは他に無し
う 嘘つければ人は信用しなくなる
え 縁の下を支える人は慕われる
お 思いやり これこそ人の宝
か 書き残す ノートが君の第一歩
き 決め事を 守るは人の第一歩

人間としてのありたい姿について5・7・5に
まとめてみました。ぜひ口ずさんでください。

リモート授業で思いを伝える



真剣に学んでいる子どもたち



■立ち直りを支える保護司会
保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを支えるボランティアです。保護観察官と協働して犯罪や非行で保護観察を受けている人と面接を行い、指導や助言をしたり、刑事施設や少年院に入っている人の帰宅先の調整を行うほか、犯罪予防活動にも取り組んでいます。令和4年4月1日現在、守口地区の保護司数は59人です。

